

Q&A たつの市への相撲巡業の誘致について／家庭介護支援制度の創設について



山本 直人 議員
NAOTO YAMAMOTO



野見宿禰ゆかりの地・たつの市への相撲巡業の誘致について

問 野見宿禰ゆかりのまちとして、大相撲地方巡業誘致について市の考えを伺う。

答 過去に市民有志が市内体育館のアリーナの広さや、収容人員について確認したところ、いずれの体育館も巡業を満たす規模ではなく、断念したと聞いており、現在の体育館の規模は、当時と同じ状況なので誘致は困難であると考えている。

問 健康づくりイベント、防災拠点機能などを併せ持つ施設として多目的ドームを整備する考えを伺う。

答 スポーツ施設を含めた各施設の在り方について定めた「たつの市公共建築物再編実施計画」との整合が取りにくいことや、合併特例債の発行期限終了など、厳しい財政状況となっていることから将来の課

題とする。

家庭介護支援制度の創設について

問 本市における在宅介護の現状と、家庭介護者が抱える課題についてどのように認識されているかを伺う。

答 高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化などにより、介護ニーズは増加傾向にある。

さらに、核家族化の進行により、一人暮らしの高齢者世帯や、高齢者のみの世帯の増加、家族をめぐる状況も変化している。

在宅介護の現状については、窓口での相談支援や「第9期介護保険事業計画」の策定に当たり実施した市民アンケート等から把握に努めている。課題としては、老老介護、仕事との両立、精神的、身体的な介護疲れ、経済的負担など、多岐に渡っている事を認識しており、引き続き、介護者への負担軽減に努める。



Q&A 未来を支える若者への支援と、JR姫新線本竜野駅周辺の賑わい創出について



山本俊一郎 議員
SHUNICHIRO YAMAMOTO



未来を支える若者の定住促進と通学支援について

問 本市では「若者未来応援戦略」を掲げているが、若い世代の人口流出は依然として課題である。大学や専門学校への進学時に自宅から通学しやすい環境を整えることは、定住促進や将来的なUターン促進にもつながると考える。そこで市外へ通学する大学生等への通学費負担軽減の考え方、神戸・大阪方面への遠距離通学者支援や姫新線利用促進を目的とした補助制度の可能性について伺います。

答 市外へ通学する大学生等への定期券購入費補助などは、公平性の観点から現時点で考えていない。直接的な支援を継続・進化させ、若い世代の流出抑制に努めていきたい。

JR姫新線本竜野駅西側周辺整備と中心市街地活性化について

問 JR姫新線本竜野駅西側で計画されている中心市街地複合施設について、駅前の新たなシンボルとして子どもから高齢者まで幅広い世代が利用し、交流できる施設となることを期待している。そこで、全天候型スペースの機能や民間活力の方向性、小宅公民館・旧保育園跡地の活用、ビジネスホテルとの連携による駅周辺の活性化について伺います。

答 今年度において、複合施設の規模、導入する機能や利用形態、民間施設の業種、周辺施設との連携、事業手法、整備スケジュール、事業費等の様々な検討を反映した基本計画を策定する予定である。中心市街地における交流や文化の機能を集約し、地域の賑わい創出や回遊性向上を促すまちづくりの拠点となるよう基本計画を策定する。

